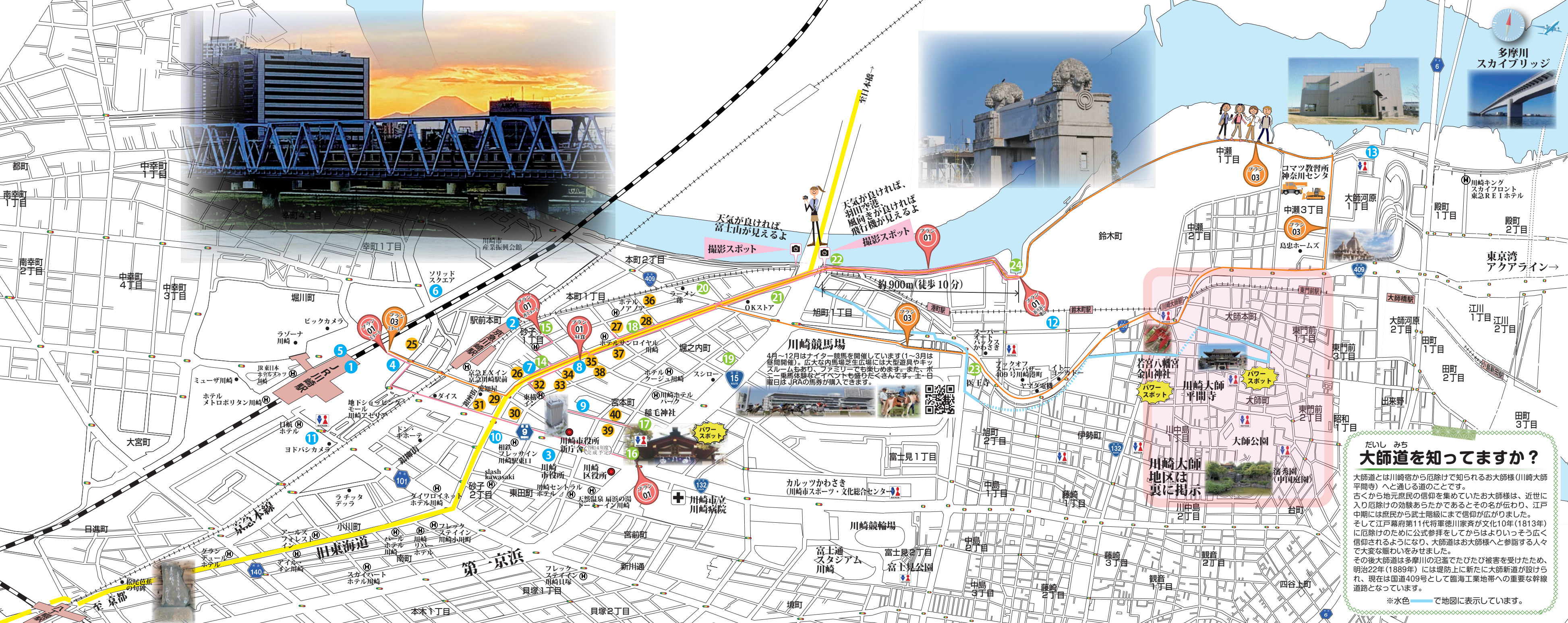




だいいち 大師道を知ってますか？

大師道とは川崎宿から厄除けで知られるお大師様(川崎大師平間寺)へと通じる道のことで。古くから地元庶民の信仰を集めていたお大師様は、近世に入り厄除けの効驗あらたかであるとその名が伝わり、江戸中期には庶民から武士階級にまで信仰が広がりました。そして江戸幕府第11代將軍徳川家斉が文化10年(1813年)に厄除けのために公式参拝をしてからはより一層信仰されるようになり、大師道はお大師様へと参詣する人々で大変な賑わいをみせました。その後大師道は多摩川の氾濫でたびたび被害を受けたため、明治22年(1889年)には堤防上に新たに大師新道が設けられ、現在は国道409号として臨海工業地帯への重要な幹線道路となっています。

※水色で地図に表示しています。

1 JR 川崎駅

2 京急川崎駅

3 川崎市役所

4 川崎浮世絵ギャラリー〜高蔵文夫コレクション〜

●開館時間：11:00〜18:30 ●観覧料：500円(ただし高校生以下、障がい者とその介護者1名は無料)
●休館日：月曜日(月曜日が祝日の時は翌日)、年末年始、展示品の入れ替え期間 ●電話：044-280-9511

5 かわさききたテラス内(観光案内所)

●年中無休(※行政サービスコーナーは年末年始休)
●営業時間：平日9:00〜20:00 土・日・祝日9:00〜19:00
●多言語対応のスタッフが、交通や駅周辺の施設、人気スポットなど川崎の街歩きに役立つ情報をご案内します。 ●電話：044-200-2022

6 川崎プレイバサunders(チーム事務所)

川崎プレイバサundersは、選手、コーチ、チームスタッフ、フロントスタッフを含むクラブ、応援してくれるファンが一体となって日本バスケットボールリーグを制覇し川崎からバスケットボールの未来をつくる」という目標に向かって戦う姿勢を表す言葉です。

7 東海道GLASS(教室・体験・販売)

●開館日：木(18:00〜22:00)、土・日(10:00〜18:00)
●電話：080-9391-9140 ※人数制限(7人まで)があるので、要確認
●場所：川崎市川崎区砂子1-4-9 砂子岩田屋ビル2階

8 東海道かわさき宿交流館

この「東海道かわさき宿交流館」は、地域の方々の長年の活動の跡を、東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流拠点となることをめざして整備した施設です。
●休館日：月曜日(月曜日が祝日にあたる時は開館し、その直後の休日でない日を休館)・12月29日〜1月3日
●入館料：無料 ●開館時間：9:00〜17:00 ●電話：044-280-7321

9 ホテル 縁道(えんみち)

2020年8月13日オープン。東海道川崎宿をコンセプトにした現代の宿。宿場町をモチーフにしたロビーと客室空間。縁道食堂では川崎らしい居酒屋メニューが楽しめます。ぜひご宿泊・お食事ください。
●場所：川崎市川崎区宮本町2-25 ●電話：044-589-5858

10 川崎信用金庫

平成26年(2014)7月、川崎信用金庫本店のシャッター11面全てに、歌川弘重作「東海道五拾三」の浮世絵が描かれました。シャッターに描かれた全ての浮世絵が見られるのは、午後10時00分から午前7時00分までのシャッターが閉まっている時間帯です。
●場所：川崎市川崎区宮本町2-11-1 ●行き方：JR川崎駅下車、徒歩5分
●業務時間：09:00〜15:00 ●電話：044-220-2286

11 カワスイ 川崎水族館

2020年7月、世界の美しい水辺を五感で感じる新感覚エンターテインメント水族館「カワスイ 川崎水族館」が川崎駅前商業施設「川崎100」の9・10階にオープン。
●定休日：不定休 営業時間：10:00〜20:00 ●電話：044-222-3207

12 味の素グループ うま味体験館見学

展示品を見ながらうま味調味料「味の素」の歴史を楽しもう！1階のみ見学はご予約不要です。(シアターを除く)
●開館時間：月曜日〜土曜日(9:30〜16:00)
●受付・リタイヤル>0120-003-476 <電話> 044-233-8910

13 大師河原水防センター(大師河原干潟館)

大師河原河川防災ステーションは、洪水の被害を防ぐための水防活動や洪水・地震による災害復旧時の最新鋭基地となり、入り口、水防活動、復旧用備蓄材などを備えた多摩川・荒川・利根川の自然と地域の歴史、文化を伝えていくための様々な情報を発信する環境学習の場の拠点として、NPO法人多摩川干潟ネットワークと川崎市が協働で管理・運営を行っています。 TEL.044-287-7882

14 瑞龍山 宗三寺

宗三寺は、京急川崎駅から徒歩2分ほどのところに所在しており、開山1750年になる寺院です。真願殿にあるお大師様は「皆様の安全」を祈るとして、京急川崎駅の方角を見て建てられました。また、北条家の家臣や豪族の古賀松蔵さんのお墓もごさいます。地域を繋ぐ象徴として、町の中心にあり、絶え間なく、地元の方々が日々お参りをしにいらっしゃいます。寺サウナや座禅会、アート写経なども定期的に執り行っています。※イベント開催については、お寺までお問い合わせください。

15 一行寺・間魔・地獄楽絵

浄土宗で正式名称は専修山念仏院一行寺といえます。本尊は阿彌陀如来像。川崎宿の開港にともない寛永8年(1631)に念仏弘通の道場として観音入超上人によって創建されました。当時は田中本陣が火急の際の宿泊者の避難場所にあてられていたといわれています。別名「間魔寺」とも呼ばれ、客殿に安置された間魔座像と地獄楽図が一般にこの観音像の年2回の数入りの日には大勢の参拝者でにぎわいます。

16 旧六郷橋親柱

大正14年(1925)に六郷川(現多摩川)に架けられて以来約60年間、川崎の産業発展を支えてきたこの親柱は平成14年秋、稲毛公園に再現されました。

17 稲毛神社

稲毛神社のご創建の年代は詳らかではありませんが、ご神木の太樹の樹齢が1千年と推定されるところから、当地の古社であることが分かります。江戸時代には川崎宿の鎮守として広く崇敬を集め、現在も8月に行われる例大祭「河崎山王まつり」は、その盛況をいまだに「祭の祇園」と称されて街並み物となっている。ご神木大樹は戦により大きく損傷しましたが、年ごとに蘇り、その生命力は御神霊のなせる業と、人々は益々篤い信仰を寄せています。

18 田中本陣跡

田中本陣は、宝永元年(1704)に本陣職を継ぎ、後に名主・間屋役を兼帯。因襲していた宿の財政を幕府の助成金と、渡し配請負権を得て立て直しました。

19 真福寺

川崎宿に3つしかない参道を持つ寺の1つで、本尊の薬師如来は、古くから眼の病や多くの病氣に効能があると信じられています。

20 川崎稲荷社

■古くから川崎宿のお稲荷さまとして、土地の人々の信仰を集めてきた神社。戦災で社殿や古文書は焼失したため、創建は不明。
■2月の第2日曜日に町会による稲荷講の祭りが開催され、餅つきが行われ参拝者に配られています。

21 万年屋跡

渡し船をおりて川崎宿に入ると、万年屋・会津屋・新田屋の旅館や茶屋がありました。万年屋で好評だった奈良茶飯を現代風にアレンジした「奈良茶飯風おこわ」は川崎東照 35 で食べることができます。

22 六郷の渡し跡(表紙の浮世絵跡)

慶長5年(1600)六郷大橋を架けたが、享享5年(1688)の大洪水で流れて以来、明治7年(1874)まで渡船が続けられました。多摩川には、記録に残る渡し場が、38箇所ありました。

23 医王寺

天台宗寺院の医王寺は、薬王山無量院と号します。医王寺は、春光坊法印祐長が延暦24年(805)に開いたという古刹です。戦国時代には当地領主間宮豊前守信盛の祈願所ともなっていたといわれています。准株父三十四所観音堂22番、多摩七薬師堂6番です。

24 川崎河港水門

1998年国の登録有形文化財に登録された水門は、運河と多摩川を仕切る水門として1927年に竣工した。水門の上部には川崎市の市章(住居の川崎の名産物であった梨・柿などをモチーフとした装飾)がある。

★ 訪ねて欲しいスポットです。

川崎宿インバウンド研究会推奨店です。

※コロナ禍による営業時間・サービスの実施の可否については店舗へ直接お問い合わせください。

25 丸大ホール(大衆食堂)

●定休日：土曜日 ●予算：昼500円〜、夜1,500円〜 ●営業時間：08:30〜22:00 ●座席数：48席 ●電話：044-222-7024

26 鯉 まるだい 1921年創業(大正10年)

●定休日：なし ●予算：昼5,000円、夜8,000円以上 ●営業時間：11:00〜21:00 ●電話：044-222-3453

27 東海道BEER川崎宿工場(ビアバー&醸造所)

京急川崎駅より徒歩7分。旧東海道沿いにひっそりとライトを灯しているビアバー&醸造所。[いま飲むべき最高のクラフトビール100]「シャイン・グレート・ビア・アワード」等に選ばれた出来立てのビールが楽しめます！日本空間デザイン賞入選、東海道・川崎宿・工場というカウキらしさをコンセプトに設計されたビアバーでゆったりと流れる時間を楽しくください。
●定休日：月・火曜日 ●予算：1,000円〜 ●営業時間：平日7:30〜22:00 土・日・祝日14:00〜22:00 ●座席数：12席 ●電話：044-272-3639

28 フリース珈琲(自家焙煎)

●定休日：火曜日 ●予算：500円以上 ●営業時間：10:00〜22:00 ●座席数：11席 ●電話：044-211-4288

29 Maroyaka waltz & Dr.moshpit (Bistro & BAR)

●定休日：日曜日・祝日前日は日曜営業 ●予算：3,000円〜 ●電話：050-3463-4496 ●サービス料・チャージ：500円

30 みやだい倶楽部(肉肉直営)

●定休日：月曜日・祝日 ●予算：昼1,000円〜、夜5,000円〜 ●営業時間：11:30-14:00/17:30-22:00 ●電話：044-211-2941

31 天龍 銀座街店(人気の町中華)

●定休日：大晦日・元旦 ●予算：昼1,000円、夜1,000円 ●営業時間：月〜金17:00〜翌2:00(土・日・祝)10:00〜翌2:00

32 東海道川崎宿 本格地焼酎処 粋いさ

●定休日：日曜日・祝日 ●予算：4,000円〜 ●営業時間：17:00-23:00(土・日・祝) ●座席数：30席 ●電話：044-200-0028

33 麻婆まぜそば 麻ぜろろ

●定休日：水曜日 ●予算：昼1,000円、夜1,000円 ●営業時間：11:30-14:00/17:30-22:00

34 八たん(連日満席の牛タン屋)

●定休日：日曜日・祝日 ●予算：2,000円〜 ●営業時間：17:00-22:00 ●座席数：20席 ●電話：044-244-9247

35 菓匠 東照 とうてる(老舗御菓子処)

旧東海道、川崎宿にある東照本店 おもてなしの心を大切にしたいお菓子を提供しております。大正2年創業、以来100年余り、東照は、先人の心を受継ぎ、菓子づくりに精進してまいりました。季節のお菓子や祝い菓子、日々のお菓子を、おもてなしの心を持ってご提供することを大切に考えております。本店は、東海道五十三次の川崎宿付近にあることから、川崎宿由来の商品をはじめ、地域に根差した菓子づくりに取り組んでいます。
●定休日：なし ●営業時間：9:00-18:00 ●電話：044-244-5221

奈良茶飯を知ってますか？

かつて川崎宿には名物がありました。それは奈良茶飯と呼ばれ、炒った大豆や小豆、粟、栗をお茶の風味で炊き込んだご飯でした。その「奈良茶飯」は、江戸時代、川崎宿の茶屋である万年屋でたいへん人気を博していました。それは、「東海道中膝栗毛」にも登場しました。作中で弥次や弁次郎が立ち寄り、奈良茶飯を食したことで全国的に有名になりました。江戸時代後期には、万年屋の隣家、川崎宿における奈良茶飯は絶えてしまいましたが、お菓子を通じて次世代に歴史と文化を伝えたいと考えた菓匠 東照が、史実の記録をもとに、伝統的な製法に基づき、味付けを現代風にアレンジした「奈良茶飯風おこわ」を販売しています。

36 縁道カフェパン

●定休日：不定休 ●予算：500円〜 ●電話：044-221-5077

37 ビストロキューブマン(居心地の良いビストロ)

●定休日：月曜日 ●予算：昼2,000円、夜5,000円〜 ●営業時間：火〜金17:00-23:00、土・日18:00-23:00 ●電話：050-5232-2414

38 パンズ亭(人気の町中華)

●定休日：なし ●予算：1,000円〜 ●営業時間：平日11:30-24:00、土曜日11:30-24:00、日曜日12:00-21:00 ●電話：044-245-8335

39 松の樹(TVにも登場する本格四川料理)

●定休日：月曜日 ●予算：昼800円〜、夜3,000円〜 ●営業時間：11:00-15:00/17:00-21:00 ●電話：044-221-9939

40 とんQ(とにかく専門店としてビブグルマンを獲得しました)

●定休日：日曜日・祝日 ●予算：2,000円〜 ●営業時間：月〜金11:30-21:00 土・日11:30-20:30 ●電話：044-244-6005